

皆様

金沢市にとって、伝統工芸品産業は市の基幹産業であるとともに、市民の質の高い生活を支え、金沢のアイデンティティの根幹をなしています。工芸品は26種類を数え、その多彩さは日本においても屈指の水準にあります。

しかし、近年では、伝統工芸品の需要が伸び悩んでいるほか、伝統的工芸品産業に従事する担い手が減少するなど、工芸を取り巻く環境が厳しさを増しています。

これを受けて、金沢市では伝統工芸品の普及・振興を目指した各種施策に取り組んでおり、その一つとして、現在、職人が一人だけとなっている金沢和傘の技術継承に着手しました。

金沢和傘は、雨雪の多い金沢で育まれた伝統を受けて、手入れが良ければ半世紀も使うことができる丈夫さと、鮮やかな紋様・色彩に大きな特徴があります。一般的に和傘は十数人の職人による分業で作られますが、現在の金沢和傘の職人は一人でいくつもの工程をこなしています。この作業を、傘作りに必要な技術素地がある異業種の若手に分業で製法を習得してもらうため、木工や表具、竹工芸などの若手職人数人からなるプロジェクトチームを結成し、国内の他の和傘産地との交流などを通じて、金沢和傘の灯を守る活動を行っています。

それでは、皆様ますますご健勝にてご活躍されることを願って、日本国金沢市創造都市推進室より。

画像添付ファイル（画像使用についてクラフト広坂に確認済みです）

